

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成23年1月27日 (2011.1.27)

【公表番号】特表2010-513595(P2010-513595A)

【公表日】平成22年4月30日 (2010.4.30)

【年通号数】公開・登録公報2010-017

【出願番号】特願2009-541355(P2009-541355)

【国際特許分類】

C 0 9 K 5/04 (2006.01)

C 0 9 K 3/00 (2006.01)

C 0 9 K 3/30 (2006.01)

C 1 0 M 107/34 (2006.01)

C 1 0 M 105/38 (2006.01)

C 1 0 M 107/24 (2006.01)

C 1 0 M 101/02 (2006.01)

C 1 0 M 105/06 (2006.01)

C 1 0 M 105/04 (2006.01)

B 0 1 J 13/00 (2006.01)

A 6 2 D 1/02 (2006.01)

A 6 2 C 13/64 (2006.01)

C 1 0 N 40/30 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 K 5/04

C 0 9 K 3/00 1 1 1 B

C 0 9 K 3/30 J

C 0 9 K 3/30 T

C 1 0 M 107/34

C 1 0 M 105/38

C 1 0 M 107/24

C 1 0 M 101/02

C 1 0 M 105/06

C 1 0 M 105/04

B 0 1 J 13/00 G

A 6 2 D 1/02

A 6 2 C 13/64

C 1 0 N 40:30

【手続補正書】

【提出日】平成22年11月30日 (2010.11.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

0.1質量パーセント～99.9質量パーセントのZ-1, 2, 3, 3, 3-ペンタフルオロプロペンおよび99.9質量パーセント～0.1質量パーセントのE-1, 2, 3, 3, 3-ペンタフルオロプロペンを含むA組成物を含む共沸または近共沸組成物。

【請求項 2】

1, 2, 3, 3, 3 - ペンタフルオロプロペンについての冷凍能力の向上方法であって、E - 異性体の量に対してZ - 異性体の量を増やすことを含む方法。

【請求項 3】

冷却しようとする物体の近傍で、請求項 1 に記載の組成物を蒸発させること、その後上記組成物を凝縮させることを含む冷却を生成させる方法。

【請求項 4】

加熱しようとする物体の近傍で、請求項 1 に記載の組成物を凝縮させること、その後上記組成物を蒸発させることを含む、加熱を生成させる方法。

【請求項 5】

請求項 1 に記載の組成物を含む気泡発泡剤。

【請求項 6】

(a) 請求項 1 に記載の組成物を発泡性組成物に添加すること、

(b) 気泡を形成するのに有効な条件下に発泡性組成物を反応させること

を含む気泡の形成方法。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の組成物を含むスプレー可能な組成物。

【請求項 8】

請求項 1 に記載の組成物をエアゾール容器中の活性成分に加えることを含むエアゾール製品の製造方法であって、上記組成物が噴射剤として機能する方法。

【請求項 9】

火炎を請求項 1 に記載の組成物を含む流体と接触させる工程を含む火炎の抑制方法。

【請求項 10】

(a) 請求項 1 に記載の組成物を含む試剤を備えること、

(b) 該試剤を加圧吐出システムに配置すること、

(c) 上記試剤をある区域へ吐出して当該区域で火を消すかまたは抑制すること

を含むトータル - フラッド適用における火の消火または抑制方法。

【請求項 11】

(a) 請求項 1 に記載の組成物を含む試剤を備えること、

(b) 該試剤を加圧吐出システムに配置すること、

(c) 上記試剤をある区域へ吐出して火災または爆発が起こるのを防ぐこと

を含む火災または爆発を防止するための区域の不活性化方法。